

令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立天竜特別支援学校 P T A					
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input checked="" type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input checked="" type="checkbox"/> 中学部	<input checked="" type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	94人(11/1現在)				

1. 使用状況

寄贈物品名	バランスボード
使用学年及び人数	小学部1年から6年(20人)
使用頻度	通年
使用状況	小学部1年から6年の児童が主に体育で使用している。サーキットトレーニングの際に使用したり、他の競技(題材)では活動開始時のウォーミングアップの運動として活用している。
物品の使用による変化や効果	本校の児童は、本人の特性や不登校などによりいろいろな面で経験が少ない。そのため、新しい活動や不得意さを感じる活動への参加に抵抗を感じてしまうことが多い。「バランスボード」は、まず外観で抵抗感よりも興味を引くことができ、多くの児童が興味を持ってバランスボードを使った運動に取り組むことができた。また、多くの児童が特性や運動経験の乏しさにより、不器用さもある。バランスボードを使用することで自然といろいろな動きを経験でき、体の動きを習得する場面が見られた。
今後の活用の見通しや課題	現在は体育で使用する場合に限って、設置をしている。今後は安全対策を講じた上で、休み時間などにも使用できるようにし、多くの運動経験が積めるようにしたい。また、100kgを超える耐荷重があるので、中学部や高等部の生徒にも使用を進めていきたい。
その他希望や所感など	多くの子供たちが喜んで使用していました。運動の苦手な子でも運動をするきっかけを作る物品です。ありがとうございました。

2. 活用の様子



運動が苦手な児童でも、このバランスボードには興味を持ちます。「やってみたい。」「やってみようかな。」と友達同士で声を掛け合いながら取り組んでいます。

運動が得意な子は、付属の道具を使って、高低差や斜面のあるバランスボードに挑戦できます。高さがあるだけで、難易度がぐっと上がります。

